

授業概要

本講義では、心理学の主要理論を、日常生活の中で経験する様々な事柄と関連づけて紹介し、人の心の基本的な仕組みや働きについて概説する。また、“科学”としての心理学がどのように形成され、発展してきたのかについて、心理学の研究史や研究法の概要についても紹介する。心理学の学びの基本を経験・理解することが本講義の目標である。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	心理学とは：歴史と方法
第 3 回	心の適応と臨床：発達の援助とストレス
第 4 回	心の仕組みと働き：心と脳
第 5 回	心の仕組みと働き：感覚と知覚
第 6 回	心の仕組みと働き：記憶、学習
第 7 回	心の仕組みと働き：情動、欲求
第 8 回	中間試験・振り返り
第 9 回	心のダイナミズム：パーソナリティ、知能
第 10 回	心のダイナミズム：発達
第 11 回	社会のなかの心：人間と社会、社会的認知
第 12 回	社会のなかの心：自己、社会的影響
第 13 回	社会のなかの心：人間関係、集団
第 14 回	心の適応と臨床：カウンセリング
第 15 回	心の適応と臨床：青年期以降の問題、まとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

- ①心理学の成立や発展、心理学における研究方法について、その背景や他学問領域との関連を理解する。
- ②様々な社会的事象を心理学的観点から考察することを通じて、心理学に関する基本的理論を理解する。

履修上の注意

- ・大幅な遅刻・早退、その他受講態度に問題がある者は出席とみなさず、退室を求める。
(講義時に配布するコメントカード用紙を受け取り、これを講義終了時に提出すること。)
- ・本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- ・その他の注意事項について初回の授業時に伝えるため、初回授業には必ず出席すること。

予習・復習

- 【予習】日常生活上の様々な出来事について、心理学ではどのように扱われているのかを考えること。
- 【復習】本講義の内容は、心理学を学ぶ上で土台となるため、配布資料を用いて必ず復習すること。

評価方法

講義各回で提出を求めるコメントカード(約 30%)と中間試験・定期試験(約 70%)に基づいて評価を行います。※コメントカードと定期試験の成績にかかわらず、出席回数が 3 分の 2 を満たない者の単位認定は行いません。

テキスト

特に指定しません。講義は配布資料に基づいて進めます。
参考書はその都度紹介します。